

栗山会長へのPIANC WG 25I議長による表敬訪問

令和6年9月18日、栗山 国際航路協会日本部会会長 (PIANC Japan会長) は、来日中のPIANC 海港委員会 (MarCom) WG 25I議長ジョーダン・バトラー氏 (オーストラリア) の表敬訪問を受けました。

WG 25I「破断した係船索の捕捉システムの設計ガイドライン」は、半年前にWGを設立、本年6月に第1回WG会合を開催したPIANCのWGとしては新しいものになります。

WGの目的は、世界中の港湾で頻繁に発生し、港湾作業員の大きなリスクとなっている繫離船作業における係船索の破断に関し、作業の安全性向上のための「係船索破断事象の設計エネルギー」「反発力 (荷重) 及び発生確率の定量化」「リスクと信頼性を考慮した破断係船索の捕捉システムの設計」に関するガイドラインの作成です。

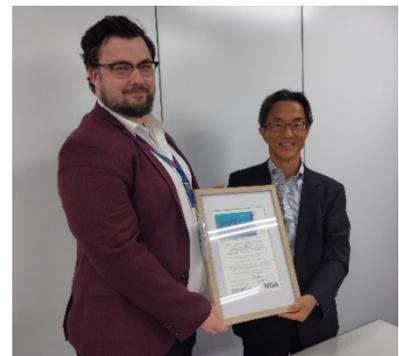
我が国でも「船舶の更なる安全な離接岸の実現」は重要な課題であることから、(国研) 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所の米山 研究監が日本側の委員として本WGに参画しています。

今回の表敬訪問では、バトラー議長から「PIANCオーストラリア・ニュージーランド部会 (PIANC AU・NZ) の概要」や「WG検討と並行実施中のスナップバック (Snapback; 係留索・曳航索等の破断現象) に関する研究概要」などの説明がありました。

両国部会の活動に関しては「技術者・研究者の不足」「若手技術者 (YP: Young Professionals) 活動の重要性」などの話題、今後のWG 25I活動については「現行ガイドラインは船舶向けであるため、港湾施設向けのガイドライン作成が急がれること」「日本委員の協力」などの話題が出ました。



栗山PIANC Japan会長とバトラーWG 25I議長の意見交換の様子



バトラー議長から栗山会長への記念品の贈呈